

3D Caliper インストールガイド

iTools Software GmbH

目次

1.	イントロダクション.....	4
2.	インストール準備.....	4
2.1.	ディスク空き領域の確認.....	5
2.1.	サポートプラットフォーム.....	5
3.	FLEXnet(ライセンスサーバー)のインストール.....	6
3.1.	Windows 版.....	6
STEP1.	Welcome スクリーン.....	6
STEP2.	インストールディレクトリの指定.....	7
STEP3.	プログラムフォルダの作成.....	7
STEP4.	インストールの開始.....	8
STEP5.	ライセンスファイルの指定.....	8
STEP6.	FLEXlm サービスの作成.....	9
STEP7.	セットアップの完了.....	9
3.2.	Solaris 版.....	10
4.	ライセンスファイルのアップデート.....	11
STEP1.	既存ライセンスのサービスの停止.....	11
STEP2.	ライセンスファイルの置き換え.....	12
STEP3.	ライセンスのサービス開始.....	12
5.	Windows マシンへのインストール.....	13
STEP1.	License Agreement.....	13
STEP2.	Pro/ENGINEER のバージョンとディレクトリの確認.....	14
STEP3.	ライセンスサーバーの指定.....	14
STEP4.	インストールディレクトリの指定.....	15
STEP5.	セットアップの完了.....	16
6.	3DCaliper の実行.....	17

1. イントロダクション

3DCaliper はインストールシールドを使用して、容易にインストールされます。Microsoft Windows システムのインストールプロセスと UNIX プラットホーム間ではいくつかの違いがあります。このドキュメントは、両方のインストールタイプをカバーします。それぞれのインストールされた 3DCaliper が異なった Pro/ENGINEER のバージョン用であれば、1 台のコンピューター上に複数の 3DCaliper の環境を持つことができます。

逆に 1 台のコンピューター上に同じ Pro/ENGINEER のバージョン用 3DCaliper の環境を持つことは不可能です。

2. インストール準備

3DCaliper を正常に動作させるために、コンピューター上に、事前にいくつかのソフトウェアがインストールされている必要があります。**まず、Pro/ENGINEER の適切なバージョンがインストールされてなければなりません。**

Pro/ENGINEER のそれぞれのバージョンには、異なったインストールパッケージがあります。正しいインストールパッケージを使用する必要があります。例えば、Pro/ENGINEER Wildfire 3.0 用の 3DCaliper は Pro/ENGINEER Wildfire 4.0 では動作しません(その逆も同じです)。

3DCaliper はライセンス管理ツールに FLEXnet を使用します。ライセンスサーバーは適切な 3DCaliper のライセンスでなければなりません。しかしながら、3DCaliper のように同じコンピューター上で FLEXnet を有する必要はありません。ライセンスサーバーはネットワークを通して、アクセスすることができます。インストーラーは、インストールプロセスの間にライセンスサーバーの IP アドレスを求めます。ライセンスはインストールに必要ありませんが、それがなければ、3DCaliper を走らせることはできません。FLEXnet ライセンスサーバーは、3DCaliper とは別のインストールパッケージで、CD 内に同梱してあります。

FLEXnet ライセンスサーバーを新規にインストールする場合は、『3. FLEXnet(ライセンスサーバー)のインストール』に進んでください。バージョンアップなどにより、ライセンスの入れ替えを行う場合は、『4. ライセンスファイルのアップデート』に進んでください。

3DCaliper は Java テクノロジーを使用します。**正常に 3DCaliper を走らせるために、1.4.1 以上の JRE (Java Runtime Environment)を必要とします。**

3DCaliper の Windows インストールパッケージは、JRE パッケージを含んでおります。

2.1. ディスク空き領域の確認

3DCaliper のインストールには、以下のハードディスクの空き領域が必要です。

マシン	空きディスク容量
Windows XP Windows Vista Windows 7	約 130MB

2.2. サポートプラットフォーム

3DCaliper のサポートプラットフォームは以下になります。

	HP HP-UX11.00/11i	Sun Solaris2.6/2.7/8	Windows XP	Windows Vista	Windows 7
Pro/ENGINEER WF3	Not Available	Not Available	YES	YES	Not Available
Pro/ENGINEER WF4	Not Available	Not Available	YES	YES	YES
Pro/ENGINEER WF5	Not Available	Not Available	YES	YES	YES
FLEXnet License Server	YES	YES	YES	YES	YES

3. FLEXnet(ライセンスサーバー)のインストール

※ 新規に Flexnet のインストールが発生する場合のみ

3.1. Windows 版

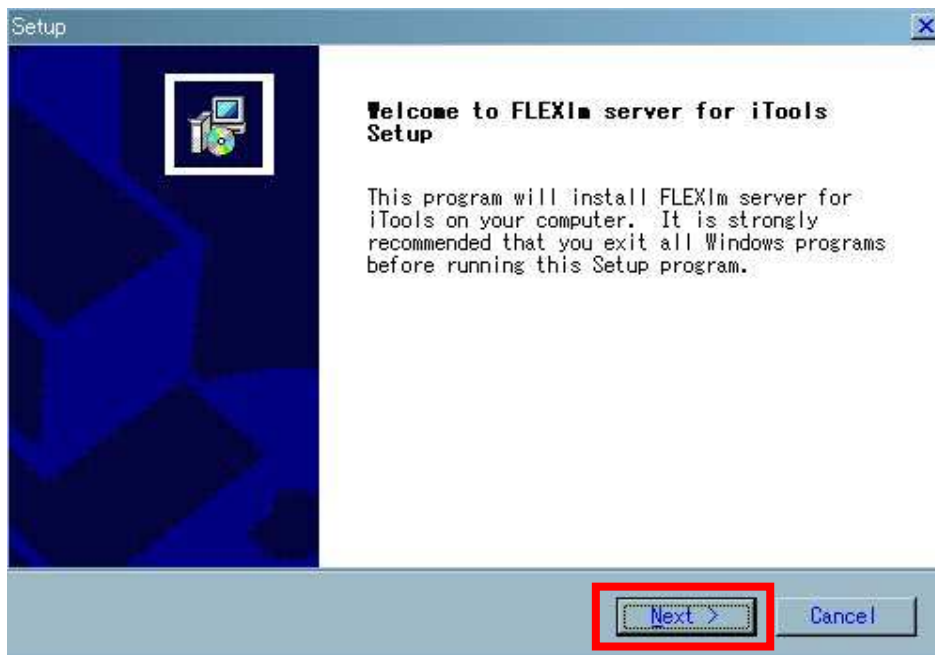
インストールプロセスは、`CD_Drive:\Flexnet\Windows\itools_flexlm_setup\Setup.exe` から開始します。インストーラーはプロセスを通して、ユーザーをガイドするダイアログの系列を表示します。

それぞれのダイアログは、3 つのボタンで構成されています。**Next** ボタンは、インストールウィザードの次のダイアログを表示します。現在のダイアログに対して、すべての必要な情報を入力したときにそれを使用します。

Back ボタンを使用することで、インストールプロセスの前のダイアログに戻ることができます。**Cancel** ボタンは、インストールプロセスを中止します。

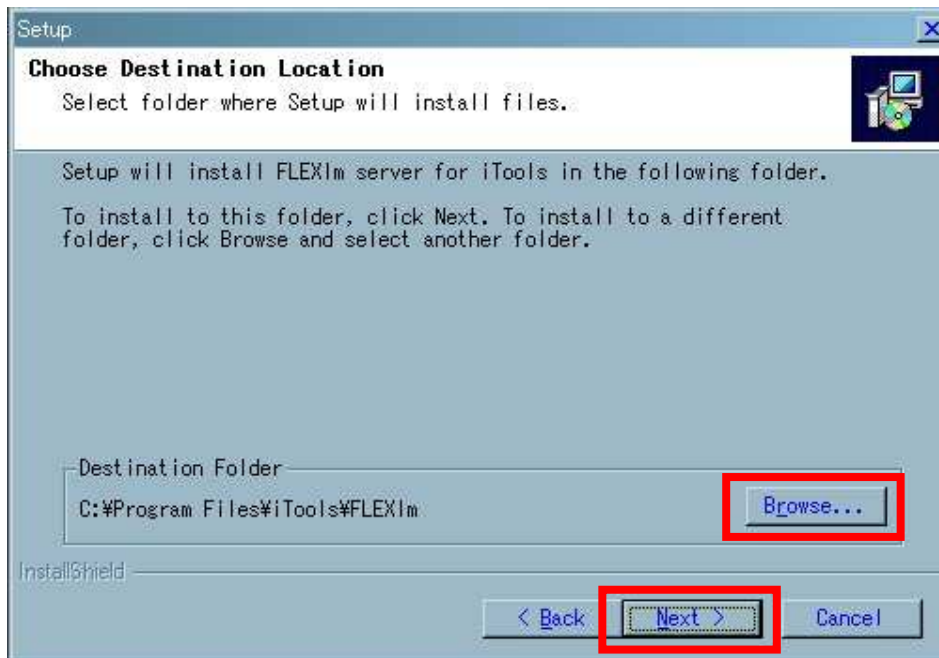
STEP1. Welcome スクリーン

最初のダイアログは Welcome スクリーンです。内容を確認し、**Next** ボタンを押して次に進んでください。



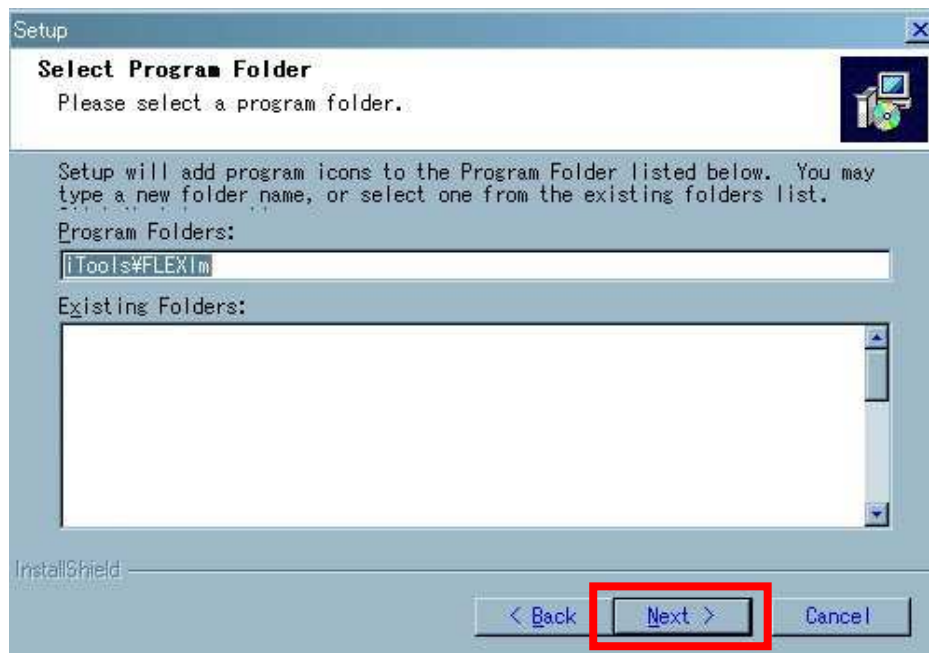
STEP2. インストールディレクトリの指定

インストール先を指定します。デフォルトは **C:\Program Files\iTools\FLEXIm** に指定されます。そのままが良い場合は、**Next** ボタンを押してください。インストール先を変更する場合は **Browse** ボタンを押して、インストール先を指定後、**Next** ボタンを押して次に進んでください。



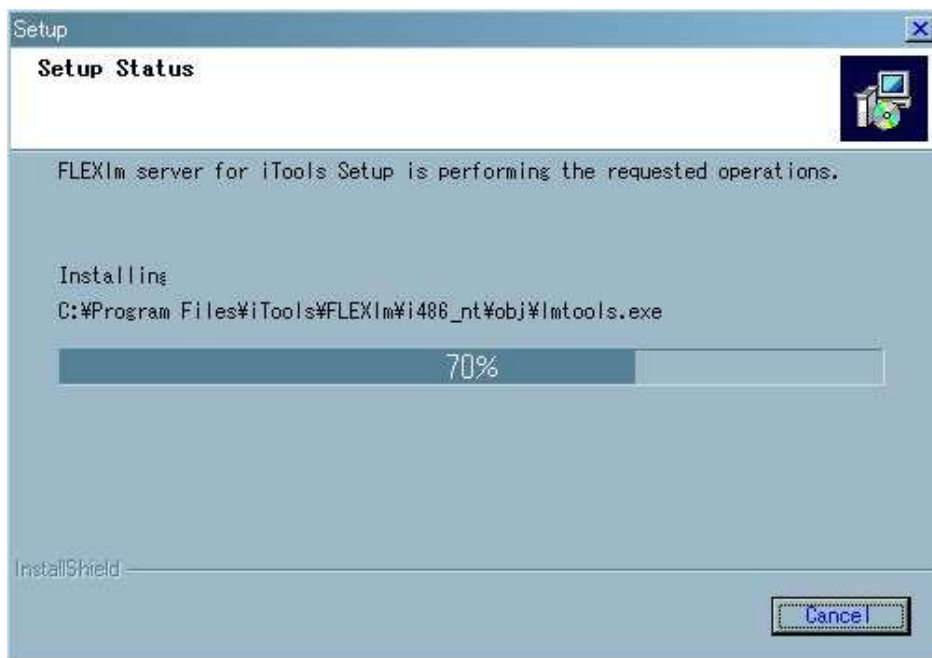
STEP3. プログラムフォルダの作成

スタートプログラムメニューの中にプログラムフォルダを作成します。デフォルトは **iTools\FLEXIm** です。確認後、**Next** ボタンを押して次に進んでください。



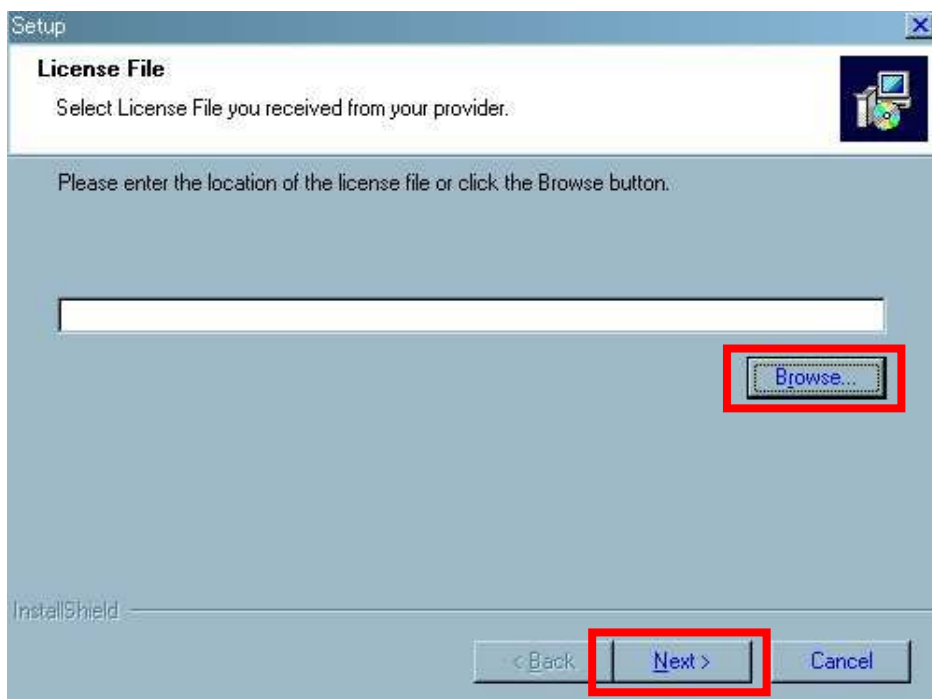
STEP4. インストールの開始

STEP2 で指定した先にインストールが開始されます。



STEP5. ライセンスファイルの指定

販売代理店より提供されたライセンスファイルを指定します。指定後 **Next** ボタンを押して次に進みます。



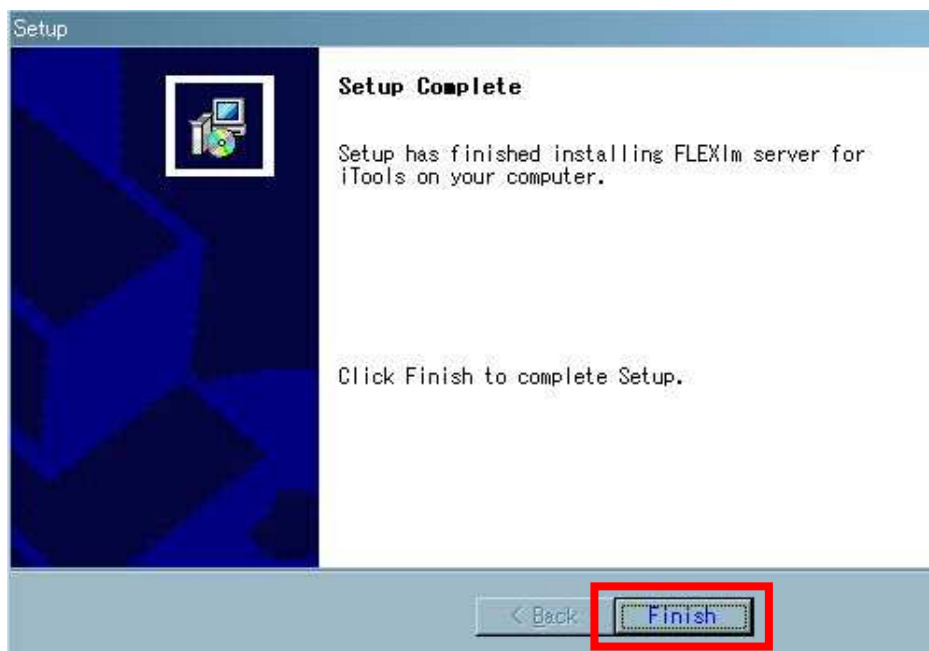
STEP6. FLEXIm サービスの作成

Create Service をチェックすることにより、サービスが自動的に作成されます。(もし、チェックしない場合は手動でサービスの設定をする必要があります。)確認後、**Next** ボタンを押して次に進んでください。



STEP7. セットアップの完了

セットアップの完了を示す画面です。**Finish** ボタンを押してインストールを終了してください。



3.2. Solaris 版

1. CD_Drive/Flexnet/Sun 内にあるファイル: `iToolsFLEXIm_sun4_solaris.tar.gz` を指定のディレクトリ上で解凍・展開を行ってください。
2. 展開後、`iToolsFLEXIm` というディレクトリが現れます。
3. そのディレクトリの下に `bin` ディレクトリに移動してください。
4. こちらには、ライセンスデーモンの起動および停止のシェルプログラムが含まれます。こちらのファイルを編集します。
5. `vi` コマンドでファイル: `itoolsstartserver` を開いてください。
6. 3 行目に記述してある `NLO_DIRECTORY` で指定してあるデフォルトのディレクトリを展開したディレクトリに変更してください。

例) `/export/home` に tar ファイルを展開

【デフォルト】`NLO_DIRECTORY=/home/techsoft/iToolsFLEXIm`

【変更後】`NLO_DIRECTORY=/export/home/iToolsFLEXIm`

7. 変更後、ファイルを保存してください。
8. `itoolsshutdown` ファイルについても同箇所を編集し、保存してください。
9. メールにて添付いたしましたライセンスファイル: `license.dat` を `$(NLO_DIRECTORY)/licensing` の下に置いてください。

注)ライセンスファイル名は `license.dat` でなければなりません。こちらは `itoolsstartserver` および `itoolsshutdown` 内でライセンスファイル名を `license.dat` と指定しているため、それ以外の名前を使用している場合、ライセンスデーモンが正常に起動しません。もし、ライセンスファイル名の変更をする場合は、前述の 2 ファイル内の 4 行目も編集してください。

10. ライセンスデーモンを起動します。

```
./$(NLO_DIRECTORY)/bin/itoolsstartserver
```

正常に起動できた場合は、以下のコメントが吐き出されます。

An itools license daemon is now running.

(Use `itoolsshutdown` to stop it.)

念のため、`ps` コマンドで状態を確認してください。: `ps -ef | grep itools`

正常に起動できない場合は、以下のコメントが吐き出されます。

The itools license daemon may not have started up correctly.

(check the log file: `/NLO_DIRECTORY/licensing/itools.log`)

以上のように、問題点は `licensing` ディレクトリ下の `itools.log` にログファイル内に記述されますのでログファイルを確認して原因を調べてください。

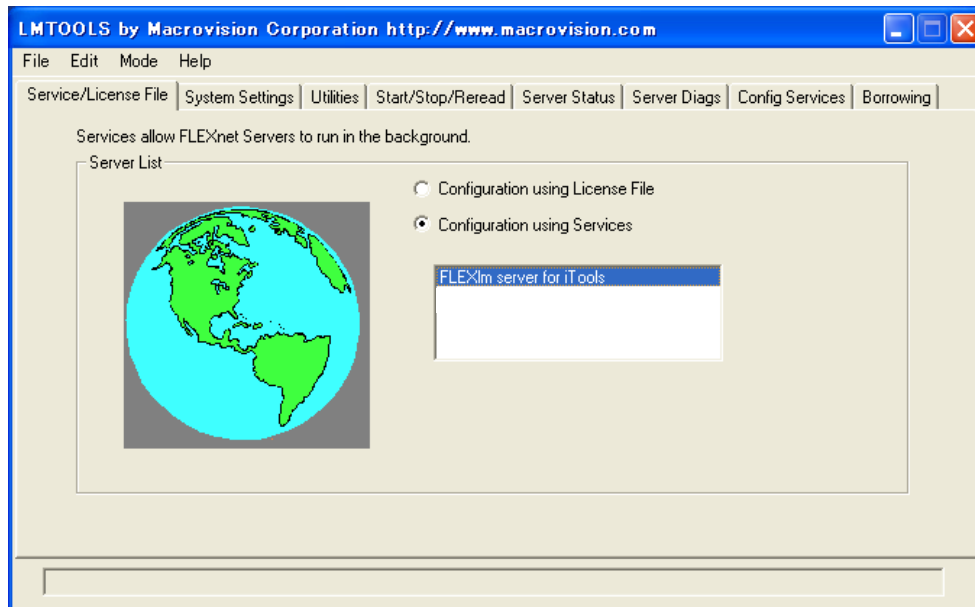
Note: ブート時のライセンスデーモンの開始に関しては、(各ユーザー様によって環境構築方法が異なる点等を考慮し) 別に作業を行う必要があります。そのため、`/etc/rc.Xd/`への `SXXX` (3DCaliper ライセンスデーモンスタートシェル)の追加はお手数ですが各ユーザー様で設定をしてください。

4. ライセンスファイルのアップデート

※ 既に FLEXnet がインストールされ、バージョンアップなどにより、ライセンスのアップデートが必要な場合のみ

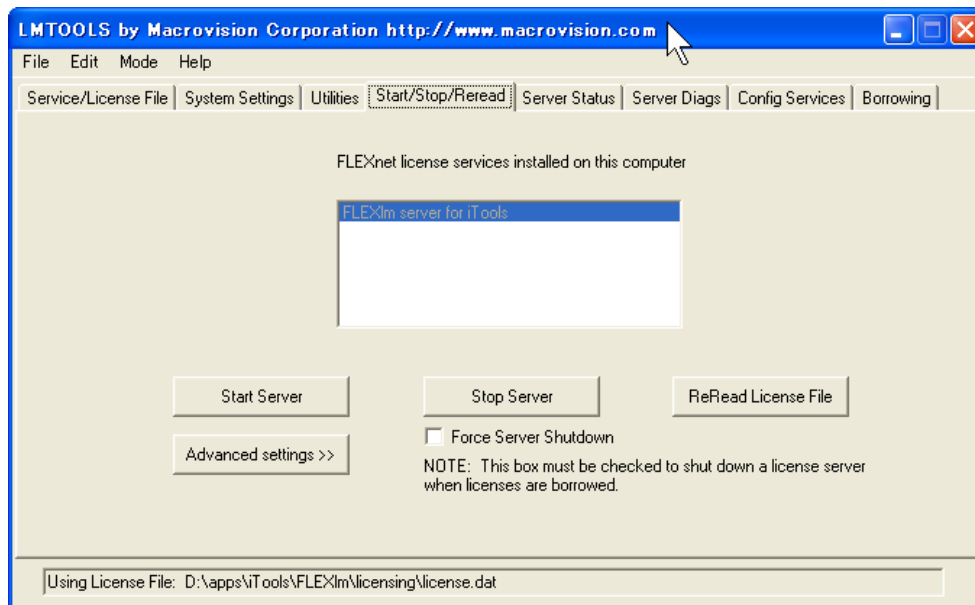
STEP1. 既存ライセンスのサービスの停止

- ① 『スタート』→『プログラム』→『iTools』→『FLEXlm』→『LMTools』から、GUI を起動してください。起動時の画面から、該当するサービス(デフォルトは、FLEXlm sever for iTools です)を選択してください。



- ② “Start/Stop/Reread”タブをクリックし、“Stop Sever”ボタンを押し、ライセンスのサービスを停止します。

※ アプリケーションを使用しているユーザーがないことに注意してください。



STEP2. ライセンスファイルの置き換え

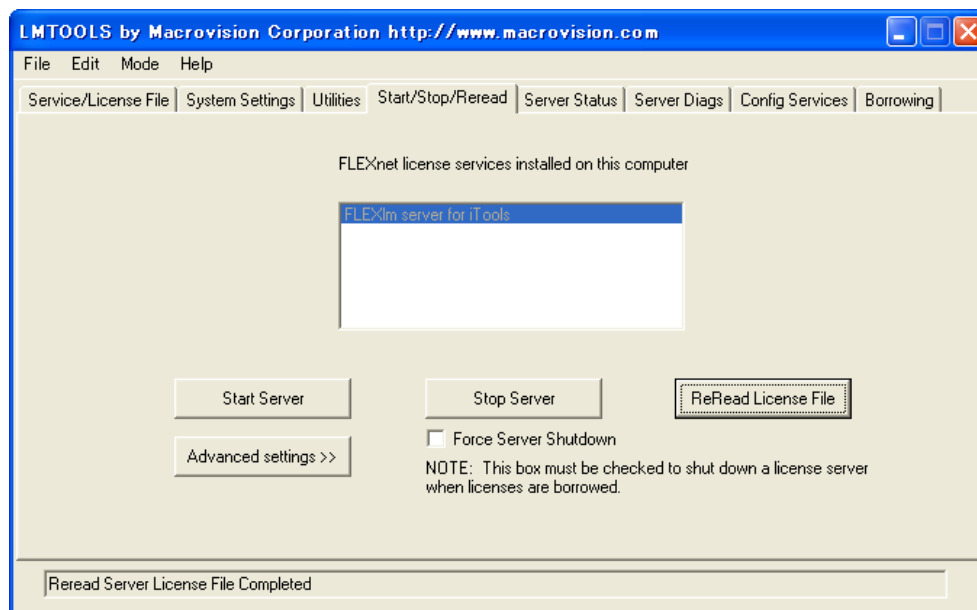
\$FLEXlm_INST_DIR\$\licensing ディレクトリ内に“license.dat”というファイルが存在します。新たに提供されたライセンスファイルを上書きしてください。

※ ライセンスファイル名は、既存のものと同名であることを推奨いたします。

STEP3. ライセンスのサービス開始

STEP1 の作業を行った画面を起動し、“Start/Stop/Reread”タブの画面から“Start Sever”ボタン→“Reread License File”ボタンの順で、クリックします。“Reread License File”ボタンを押した後に、画面左下に‘Reread Sever License File Completed’ というメッセージが表示されたら(少々時間が掛かります)、作業完了です。

再読み込みが失敗した場合は、ライセンスファイルに問題がある可能性がありますので、サポートに連絡してください。



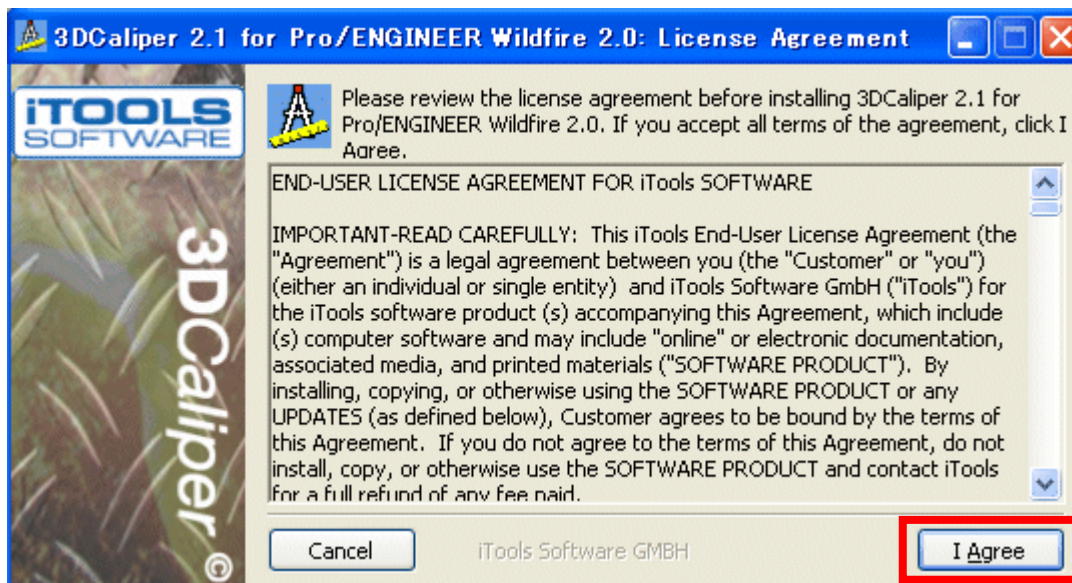
5. Windows マシンへのインストール

インストールプロセスは、CD_dirve:¥3DCaliper¥inst_3dcaliper_4.2_wildfireXX_YY_ZZ.exe から開始します。【ご使用になっている Pro/ENGINEER のバージョンにより実行するセットアップファイルは異なります。該当する Pro/ENGINEER のバージョンのセットアップファイルを実行してください。※セットアップファイル名に Pro/ENGINEER のバージョンが含まれます。インストーラーはプロセスを通して、ユーザーをガイドするダイアログの系列を表示します。

それぞれのダイアログは、3 つのボタンで構成されています。**Next** ボタンは、インストールウィザードの次のダイアログを表示します。現在のダイアログに対して、すべての必要な情報を入力したときにそれを使用します。**Back** ボタンを使用することで、インストールプロセスの前のダイアログに戻ることができます。**Cancel** ボタンは、インストールプロセスを中止します。

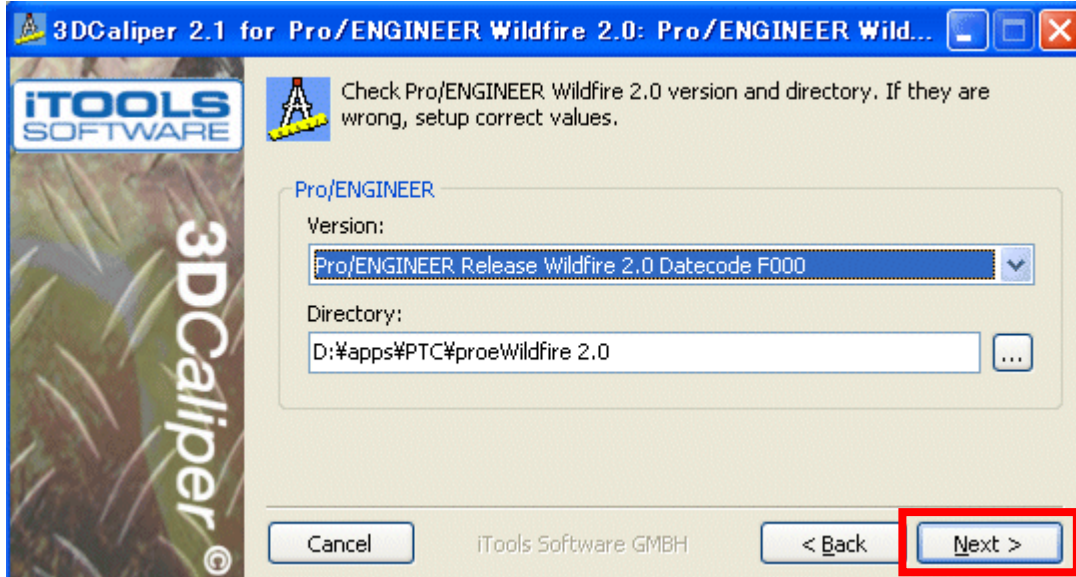
STEP1. License Agreement

インストールを継続するために、ライセンス使用許諾に基づき定められている諸条件に同意しなければなりません。これに同意しない限り、次の処理に進むことはできません。“I Agree”ボタンを押し、次に進んでください。



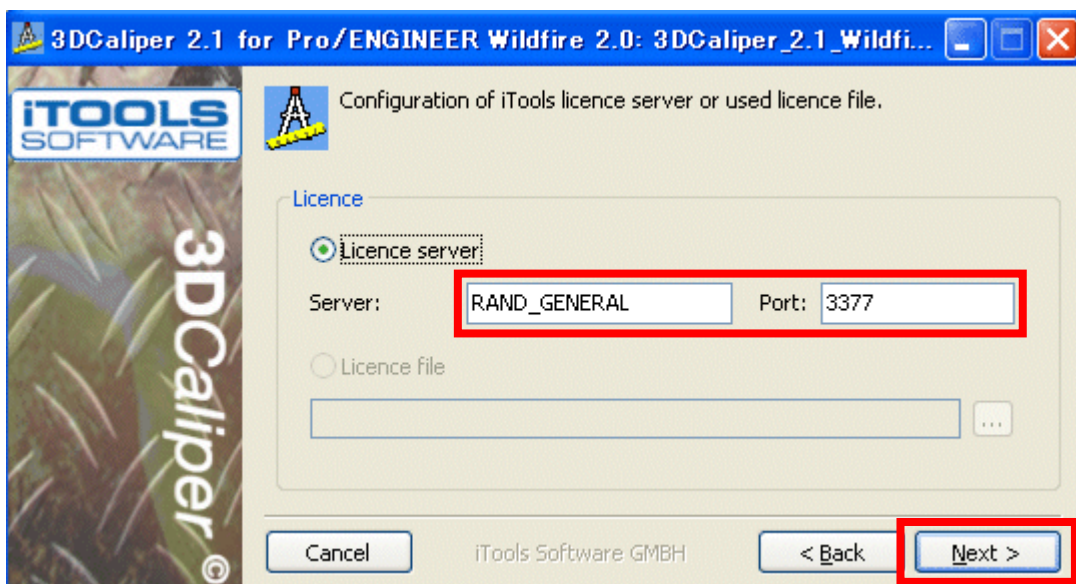
STEP2. Pro/ENGINEER のバージョンとディレクトリの確認

ダイアログ内に表示されている Pro/ENGINEER のバージョンとディレクトリが正しいかどうか確認してください。もし異なる場合は、正しい Pro/ENGINEER のバージョンとディレクトリパスを設定し、Next ボタンを押してください。



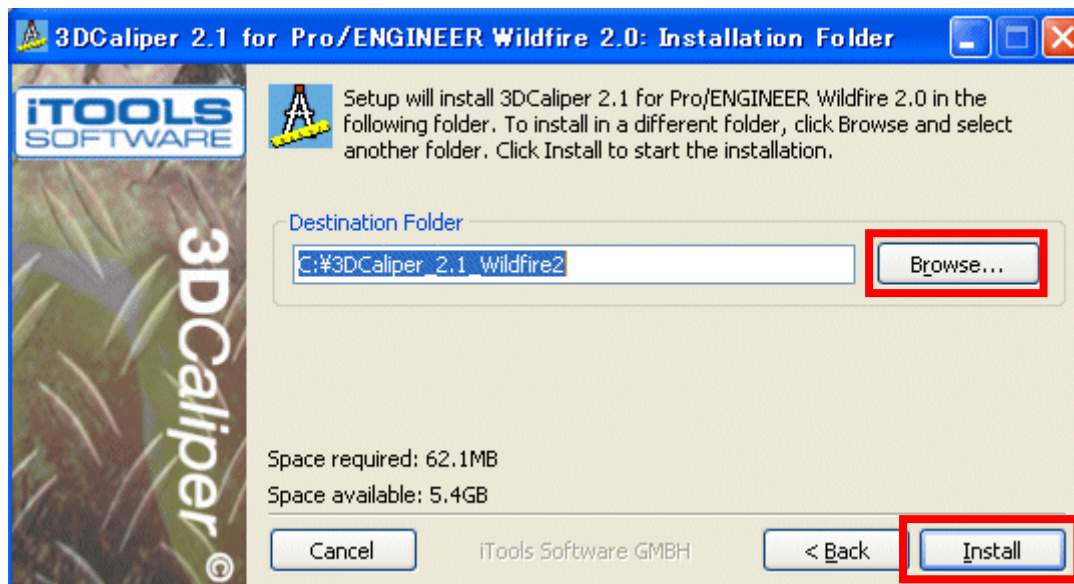
STEP3. ライセンスサーバーの指定

このダイアログでは、FLEXnet ライセンスサーバーのアドレス(マシン名、あるいは IP アドレス)を指定します。ポートはサーバーからライセンスを取得するために使用されるコミュニケーションポート (COM ポート) です。これらの両方の値に関しては、ライセンスサーバーをインストールしたシステム管理者に確認してください。



STEP4. インストールディレクトリの指定

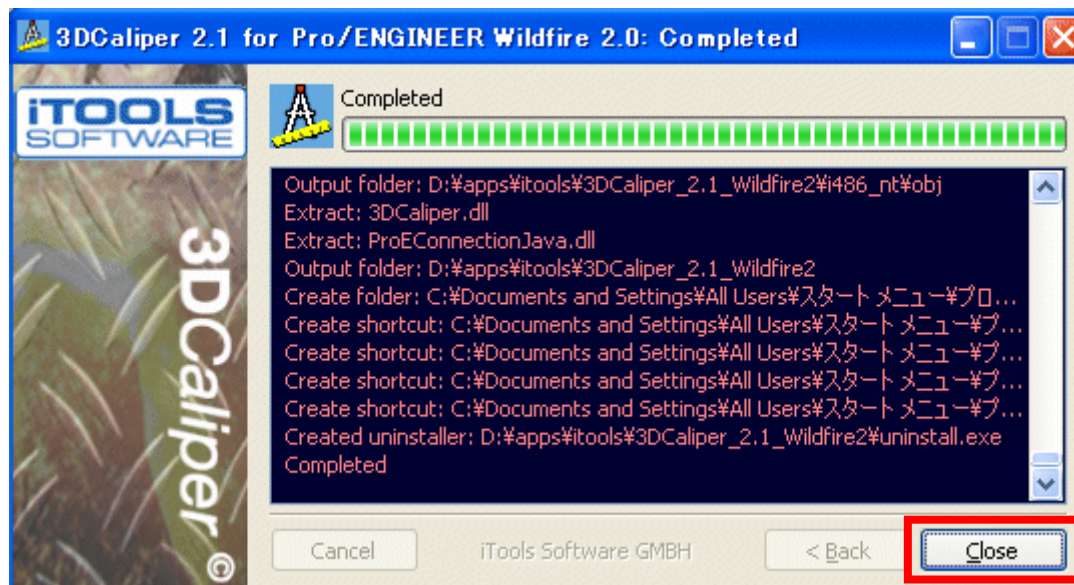
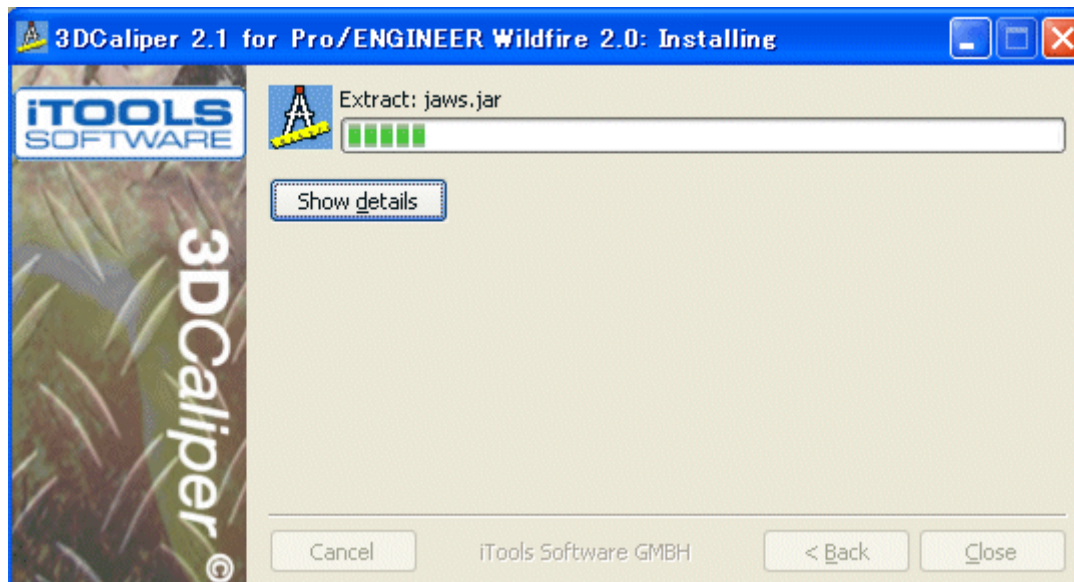
3DCaliper をインストールするディレクトリを指定してください。デフォルトの状態であれば、そのまま、**Install** ボタンを押し、異なったディレクトリにインストールする場合は、**Browse** ボタンを押し、インストール先を指定し、**Install** ボタンを押してください。



Note: 3DCaliper のインストール先として、インストールパスに空白を含まない状態でインストールしてください。これは Windows のいくつかの言語環境で起動したり、使用したりするときに問題を引き起こす場合があります。

STEP5. セットアップの完了

インストールの進捗状況が表示され(上図)、問題なく終了した後に、**Close**(下図)ボタンを押すことが可能になります。また、インストール中に **Show_details** ボタンでインストールの詳細を見ることが可能です。**Close** ボタンを押してインストールを終了してください。



6. 3DCaliper の実行

3DCaliper を起動する前に、Pro/ENGINEER を起動します。

Windows 上で、3DCaliper を起動する方法として 2 つあります。1 つ目の方法は Pro/ENGINEER を起動後、「スタート」メニュー→「プログラム」→「iTools」→「3DCaliper 4.2 for ProENGINEER Wildfire XX」→「3DCaliper 4.2」から起動します。2 つ目の方法としては、Pro/ENGINEER の「アプリケーション」メニュー下の「Run 3DCaliper」を実行します。